

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市政見学会事業				事業コード	0155
担当課等	所属名	市民部 市民活動推進課			担当係名	
	課長名	市民部 市民活動推進課	担当者名	近藤 祥彦	電話番号	2117

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード 3	施策	元気な地域コミュニティ活動の推進	コード 1
	基本事業	コミュニティ活動の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 8目 市政見学会事業(002-02)	
	特記事項					
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和51年度～)					
事務事業の概要	市の事業や施設などを市民に紹介することで、市政への関心を高めていただく。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和51年から、町内会等の活動のために貸し出している地域活動バス「せきれい」号を利用し、行っている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
参加者のアンケート結果によると、おおむね好評である。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
参加者が固定化し減少する傾向にある。市民に市政への理解を深めていただくため、多くの市民の関心を引くような工夫が必要である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 地域活動バス「せきれい」号の運行により、市の事業や施設等を市民に紹介する。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 地域活動バス「せきれい」号の運行により、市の事業や施設等を市民に紹介する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 市政見学会の回数(コース×日数)	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市政、まちづくりへの関心を高めてもらうとともに、コミュニティ活動を盛り上げ、より良い地域社会を作る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市政見学会参加人数 【指標の性格: ☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	コミュニティ活動に参加する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	コミュニティ活動参加者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297,592	297,267	297,267	298,148	298,148	298,148	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	市政見学会の回数(コース×日数)	回	10	10	7	7	5	5	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	市政見学会参加人数	人	316	274	270	140	140	140	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	29	27	26	26	26	26	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	29	27	26	26	26	26	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	29	27	26	26	26	26	*****
	延べ業務時間数	時間	510	510	510	510	510	510	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,040	2,040	2,040	2,040	2,040	2,040	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	2,069	2,067	2,066	2,066	2,066	2,066	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☐ 類似事業がある ☒ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☒ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由: 市政への関心を強くしてもらうことにより、市政への理解を深め、市政と連動した地域活動の活性化につながる。

理由: 市政への理解を深めてもらうことが目的であることから、市が行うべき事業である。

理由: 対象は原則として全市民であることから、このままで良い。

理由: 現状の意図で妥当である。

その内容: 見学先や内容、開催日を工夫することで、より高い成果が見込まれるものとする。

その内容: 市の事業を直接市民に紹介する機会が失われることになり、市民協働のまちづくりを進める上で影響が大きいと考える。

事業名:

※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？

統廃合・連携検討 ☐ できる ☐ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:

理由: 地域活動パス「せきれい」号を使用しており、現状以上の事業費削減は考えられない。

理由: 地域活動パス「せきれい」号を使用しており、現状以上の人件費削減は考えられない。

理由: 全市民を対象として行っており、主として広報もりおかにより募集を行っているため、受益機会は公平・公正である。

理由: 市政見学会は市政と施策のPRであることから受益者負担はなじまないと考えるが、施策と連動した民間の施設もあることから、幅広い見学先の選定のためには入館料等の費用負担を検討する必要がある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 休日など参加者の増加が見込まれる開催日を設定する。 見学先の入館料等を受益者負担とし、幅広い見学先を対象とする。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 休日に開催した場合、見学できる施設が限られることや、人件費の増加が問題となる。関係する各課等と検討する。 経済的な負担を忌避する市民が参加を敬遠することになる。市で入館料を負担することになれば、コスト増につながる。

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり		(2)全体総括(振り返り、反省点) 市政見学会は、市政の課題や取組みのうち今日的課題を見学会のテーマに取り上げ実施しており、市民に市の施策をPRし理解していただく機会となっている。
	今後の方向性と改革改善案 (3)今後の事務の方向性(改革改善案) ☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携  方向付けの理由と改革改善の内容 市政見学会は市の施策を市民に理解していただくことを目的に地域活動バスを利用して実施しているが、市政のPR活動としての側面もあることから広報担当である広聴広報課への事務移管が妥当かどうか検討する必要がある。今後民間施設の見学も視野に入れ、参加者に相応の負担を求められないか検討する必要がある。		